

執筆者紹介

石和田秀幸（千葉県立木更津東高等学校教諭）

藤井俊博（本学教授）

米澤昌子（本学留学生別科嘱託講師）

真仁田栄治（大阪国際大学非常勤講師）

修 徳健（中国青島海洋大学助教）

茨木伸介（京都精華女子中学高等学校教諭）

金 裕成（本学大学院博士後期課程）

橋本和佳（本学大学院博士後期課程）

河 京植（韓国慶南昌原市天光学校教師）

佐尾ちとせ（本学留学生別科嘱託講師）

謙 燕（本学大学院博士後期課程）

村田昌巳（ニュージーランド・マッセイ大学大学院博士課程）

学院博士課程）

藤井涼子（本学文学部嘱託講師）

編集後記

新しい世紀を迎え、最初の号を送ることになった。各大学では、少子化の時代を本格的に迎え、入試や学生事情など様々な面で変化が見られることが日々の新聞においても報道されている。同志社大学国文学専攻においても、今後、様々な新しい局面を迎えていくことになろう。

今号は、玉村文郎先生の退職記念号として発行することになった。収録論文は、玉村先生のもとで薫陶を受けた若い学徒のものを中心とした。玉村先生のご専門でもある語彙や日本語教育に関連した論文の他、文法、敬語、文字についての論文など、幅の広いものとなっている。玉村先生の指導によって様々な分野において専門的な研究者が育っていることは、玉村先生の幅の広い学識のおかげであり、永年にわたる真摯な御指導の賜物であるというべきであろう。本号に、一〇編の論文、三編の研究ノートが集まり、記念号を編むことができたことを大いに慶びたい。各論文は、それぞれの分野で意欲的な研究を提示しようとしたものであるが、大方のご批正を仰ぐとともに、これらの若い研究者がさらなる研鑽を積み、新しい世紀に大成していくことを期待したい。

（藤井俊博）

同志社国文学 第五十四号

二〇〇一年三月一五日 印刷

二〇〇一年三月二〇日 発行

編集 藤井俊博
田中励儀

発行 同志社大学国文学会

(代表) 玉村文郎

京都市上京区今出川通烏丸東入
振替 〇一〇九〇一―二七三七

印刷所 共同印刷工業株式会社

京都市右京区西院久田町